

7th ANNUAL REPORT

2022.12.1 -2023.3.31

ごあいさつ

認定NPO法人セカンドハーベスト京都（2HK）は、「食品ロス削減とフードセーフティネットを両立させる社会インフラのひとつになること」をめざし、2015年12月に団体を設立し、8年目となりました。

この度は、事業年度の変更に伴い4ヶ月間のご報告となります。ご支援ご協力いただきました皆さまには心より感謝申し上げます。

現在、ロシアのウクライナ侵攻からはじまる物価高騰の影響により生活にお困りの方々は増加の傾向にあります。私どものフードバンク活動では、食によるセーフティネットですべてのどのような状況でも「食べること」に困ることのない仕組みを京都府内に創って参りたいと願っております。京都府内の食のセーフティネット構想はまだ、スタートラインに着いたばかりですので、引き続き府民の皆様、府内企業の皆様のお力添えをお願い申し上げます。

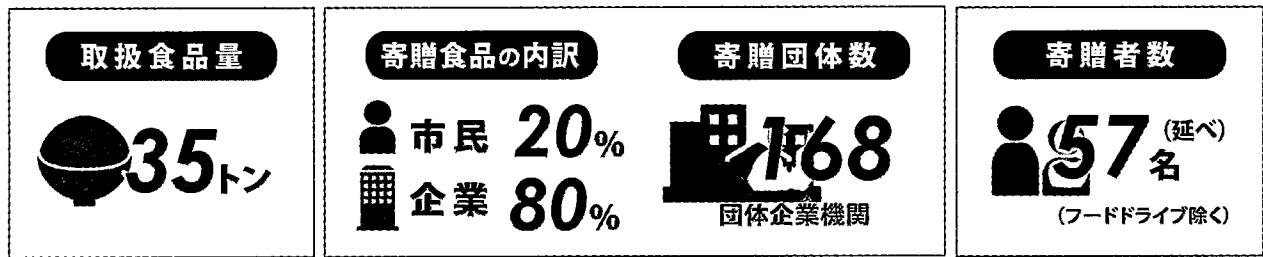
認定NPO法人 セカンドハーベスト京都
理事長 澤田政明



認定NPO法人

セカンドハーベスト京都

■ 実施実績 <全体>



FOOD BANK フードバンク

母子生活支援施設などの福祉施設や生活に困窮された方々を支援する団体やこども食堂などへ提供。

37団体・延べ10,049名の方々に提供しました



FOOD SAFETYNET 食のセーフティネット

行政や社会福祉協議会などから、生活に困窮された方々のために個別に要望を受け提供。

85件・延べ180名の方々に提供しました



支援機関の声

所持金や食料が尽き、途方に暮れて相談に来られる方に対し、これまでは直接食料を提供する仕組みがありませんでしたが、「食のセーフティネット」を利用することで、速やかに食品を提供できるようになり、当方も安心感があります。食品をお届けした方にも「助かりました」と感謝いただいています。 **【保健所】**

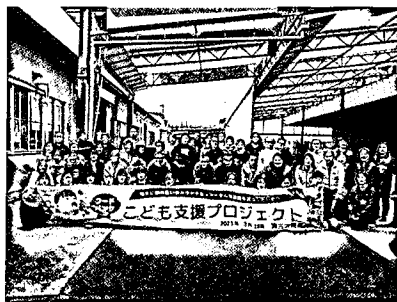
実際に利用させていただき、「食料品を届ける」という行動を通して支援対象者との信頼関係の構築に繋がったと思います。また生活福祉資金貸付事業は手続きに時間がかかるため、「今食べるものもない」といった相談の際、とても心強いです。公的制度の「隙間」を埋める有効な事業だと思っています。 **【社会福祉協議会】**

当団体が支援している母子家庭は、困窮状態での出産、急な離婚、病気による失業など、すぐに解決・快方に向かうのが難しい状況の方が多く、そうしたなかでの食料支援は、文字通り命をつなぐものだと思います。また定期的に訪問することで「ひとりではない」と思ってもらえるようです。 **【青少年支援施設】**

03 CHILDREN SUPPORT PROJECT こども支援プロジェクト

低所得の子育て世帯へ夏休みなどの長期休暇、年3回食品を宅配で送ります。

1,517件・延べ5,962名の方々に提供しました



利用者の声

子供は食事制限なく普通に食べさせ親の私は2日間一度程。本当に沢山の食糧ありがとうございました。感謝してもきれない程です。ありがとうございます。

【50歳女性(母子家庭・3人世帯)】

たくさんの食品等のご支援をいただきありがとうございます。物価は高騰し、税金は引かれ、長引くコロナ禍でどのような世の中になるのか不安はありますが、子供達のためにできる限り頑張ります。

【25歳女性(ふたり親・5人世帯)】

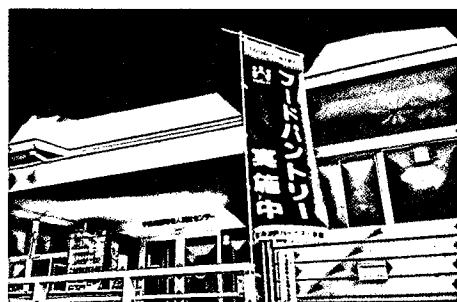
食費が高くなり買い控える傾向があるため、心理的にも費用面でもとても有り難く感じています。コロナ後、子供達在不登校であり、給食に頼れない状況で、食費がかさむ一方です。支援していただきとても嬉しいです。本当にありがとうございます。

【52歳女性(母子家庭・5人世帯)】

04 FOOD PANTRY フードパントリー

コロナ禍や物価高騰で経済的に生活が苦しい方々へ直接お渡ししています。

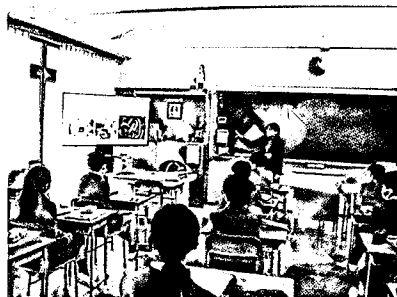
327世帯・延べ747名の方々に提供しました



05 FOOD LOSS&WASTE REDUCTION PROJECT 食品ロス削減啓発事業

市内の小中高校・大学などに講師を派遣し、食品ロス削減のための出前授業を行っています。

1月に4コマ実施しました 【洛南高等学校附属小学校6年生 3コマ / 京都府立大学生命環境学部2回生 1コマ】



Special Thanks

助成・寄附

(順不同・敬称略)

農林水産省／社会福祉法人京都府共同募金会／星和電機株式会社／マツイカク株式会社／医療法人社団洛和会／
 エコエ電設株式会社／新京極商店街振興組合／近畿労働金庫労働組合／SEIWA ママさんクラブ有志「おむすびプ
 ロジェクト」／京都食料株式会社／公益財団法人社会貢献支援財団／宗教法人生長の家宇治別格本山／日本キリス
 ト教団 紫野教会 アーモンド会

事務局支援

(敬称略)

有限会社ICB

食品提供企業・団体

(順不同・敬称略)

コストコホールセール ジャパン株式会社 京都八幡倉庫店／明治ホールディングス株式会社／京都生活協同組合／
 石井食品株式会社／日本新薬株式会社／農事組合法人旭(なごみの里あさひ)／株式会社生種農園／ココ・ココラポ
 ドラニスジャパン株式会社／アサヒグルーブ食品株式会社／マルコム株式会社／日本食研ホールディングス株式会社
 カーギルジャパン合同会社／カルゲン製薬株式会社／名糖産業株式会社／株式会社アルソフ慧央グループ／株式会社
 みつばちハウジング／ハイアットリージェンシー 京都／大樹生命保険株式会社 京都南営業部／宗教法人生長の家宇
 治別格本山／一般財団法人国際文教慈善基金会／株式会社平井製作所／株式会社 SCREEN ホールディングス／株式会
 社ジャックス／障がい者就労継続支援A型事業所 **ローノール**

フードドライブ協力企業・団体

(順不同・敬称略)

京都生活協同組合／株式会社島津製作所／公益財団法人京都YWCA／ゲストハウストゥーカサ／三陽工業株式会社
 京都営業所／洛和会ヘルスケアシステム／株式会社京都放送 (KBS 京都)／下鴨地域ごみ減量推進会議／SEIWA ママ
 さんクラブ有志「おむすびプロジェクト」／学校法人京都産業大学／弁護士法人賢誠総合法律事務所／オムロン株式
 会社／オムロンヘルスケア株式会社／オムロンソフトウェア株式会社／オムロンエキスパートリンク株式会社／ミテ
 ック株式会社／ミテックドライブテクノロジー株式会社／ミテックアドバンステクノロジー株式会社／ミテックグロ
 ーバルサービス株式会社／南山城学園グループホーム支援室／株式会社京都ホテル／株式会社タカコ／株式会社松風
 リコージャパン株式会社 京都支社／京都聖書教会／京都市立待鳳小学校／住友生命保険相互会社 京都支店／京都
 友の会 西山方面／学校法人立命館 立命館宇治中学校 高等学校／公益社団法人京都市児童館学童連盟／つきき児
 童館／下鳥羽児童館／京都市羽東師児童館／京都市横大路児童館／京都市榎原児童館／京都市久我の杜児童館／京都
 市境谷児童館／京都市桂川児童館／京都市桂東学童保育所／京都市桂徳児童館／京都市向島学童保育所／京都市向島
 南児童館／京都市住吉児童館／京都市上里児童館／京都市神川児童館／京都市西京児童館／京都市川岡東児童館／京
 都市大枝児童館／京都市南浜児童館／京都市納所城之内児童館／京都市淀児童館／京都市嵐山東児童館／桂坂児童館
 桂児童館／桂東児童館／松陽児童館／城南児童館／新林児童館／大原野児童館／白菊児童館／福西児童館／桃の里児
 童館

お願いしたいこと

【詳しくは】 <https://www.2hkyoto.org>

食品の寄付

白米・玄米、加工食品、野菜・果物、調味料、飲料などの寄贈をお願い
 します。宅配便で下記住所へお送りいただくか、直接倉庫へお持ち込み
 ください。

※加工食品(乾麺、調味料、インスタント食品、お菓子)などは未開封
 で賞味期限まで1カ月以上あるものをお願い致します。

【住所】

京都府宇治市榎島町中川原 125
 大倉産業株式会社倉庫内 〒611-0041

【宛先】セカンドハーベスト京都

【TEL】075-601-2100

お金の寄付

食品を無償で提供するフードバンクは、皆様の寄付金で
 支えられています。食品配送のためのガソリン代、宅配
 料、倉庫賃賃料など、運営費用のご寄付をお願いします。

時間の寄付

ボランティアとして活動を支えていただけの方を募集し
 ています。デリバリー(食品配送)、倉庫内作業(食品
 のチェック、棚入れ、箱詰めなど)、事務局サポートなど。

フードドライブへの協力

学校、会社内、イベント会場などでフードドライブに取
 り組んでいただける方を募集しています。のぼり旗や食
 品用コンテナの貸し出しも行っています。

情報の拡散

ホームページのほか、FacebookやTwitterでも日々の活
 動について情報発信しています。ぜひご覧いただき、ご
 家族ご友人にもご紹介ください。

災害備蓄食品引取販売事業は本年度実施していません



認定NPO法人

セカンドハーベスト京都

TEL: 075-601-2100 E-mail: info@2hkyoto.org

Head office: 京都市伏見区桃山町丹後18-15 万国ビル3F (〒612-8018)



2022年度 活動計算書
2022年12月1日から2023年3月31日まで

認定NPO法人セカンドハーベスト京都
(単位：円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費		9,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金		2,104,808
3. 受取助成金等		
受取助成金		4,922,902
4. その他収益		
雑収入(事業)		33,225
雑収入		11,581
経常収益計		7,081,516
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当(事業)	1,469,730	
通勤費(事業)	271,965	
法定福利費(事業)	167,818	
人件費計	1,909,513	
(2) その他経費		
食品購入費(事業)	3,919,251	
印刷製本費(事業)	192,276	
消耗品費(事業)	345,789	
燃料費(事業)	54,125	
車両費(事業)	33,000	
賃借料(事業)	126,115	
高速道路代(事業)	9,520	
旅費交通費(事業)	179,770	
雑費(事業)	10,001	
支払手数料(事業)	105,505	
地代家賃(事業)	797,175	
通信費(事業)	193,698	
広告宣伝費(事業)	330,000	
業務委託費(事業)	218,300	
荷造運搬費(事業)	1,813,504	
保険料(事業)	8,600	
減価償却費(事業)	7,789	
その他経費計	8,344,418	
事業費計		10,253,931
2. 管理費		
(1) その他経費		
印刷製本費	56,845	
業務委託料	687,000	
広告宣伝費	380,000	
接待交際費	5,400	
旅費交通費	300	
通信費	50,449	
水道光熱費	31,422	
備品・消耗品費	2,909	
地代家賃	198,000	
租税公課	950	
支払手数料	53,071	
減価償却費	341,192	
その他経費計	1,807,538	
管理費計		1,807,538
経常費用計		12,061,469
当期経常増減額		-4,979,953
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		-4,979,953
当期正味財産増減額		-4,979,953
前期繰越正味財産額		12,246,128
次期繰越正味財産額		7,266,175

(法第28条第1項関係)

2022年度 貸借対照表
2023年 3月 31日現在

認定NPO法人セカンドハーベスト京都
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
(現金・預金)		
現金	58,922	
普通預金	7,310,507	
現金・預金 計	7,369,429	
(棚卸資産)		
貯蔵品	113,000	
棚卸資産 計	113,000	
(その他流動資産)		
前払費用	81,200	
その他流動資産 計	81,200	
流動資産合計		7,563,629
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品	401,227	
有形固定資産計	401,227	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	531,667	
無形固定資産計	531,667	
(3) 投資その他の資産		
差入保証金	66,000	
投資その他の資産計	66,000	
固定資産合計		998,894
資産合計		8,562,523
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払費用	1,188,421	
預り金	107,927	
流動負債合計		1,296,348
負債合計		1,296,348
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	12,246,128	
当期正味財産増減額	△ 4,979,953	
正味財産合計		7,266,175
負債及び正味財産合計		8,562,523

(法第28条第1項「前事業年度の財産目録」)

2022年度 財産目録

2023年 3月 31日現在

認定NPO法人セカンドハーベスト京都
(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
(現金・預金)		
現金		
一般現金	58,922	
普通預金		
京都銀行	520,000	
ゆうちょ銀行 (総合)	116,730	
ゆうちょ銀行 (振替)	6,534,683	
預り金ゆうちょ銀行 (総合)	86,148	
GMOあおぞらネット銀行	52,946	
現金・預金 計	7,369,429	
(棚卸資産)		
貯蔵品	113,000	
棚卸資産 計	113,000	
(その他流動資産)		
前払費用	81,200	
その他流動資産 計	81,200	
流動資産合計		7,563,629
2. 固定資産		
(1) 有形固定資産		
什器備品	401,227	
有形固定資産計	401,227	
(2) 無形固定資産		
ソフトウェア	531,667	
無形固定資産計	531,667	
(3) 投資その他の資産		
差入保証金	66,000	
投資その他の資産計	66,000	
固定資産合計		998,894
資産合計		8,562,523
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払費用	1,188,421	
預り金	107,927	
流動負債合計		1,296,348
負債合計		1,296,348
正味財産		7,266,175

財務諸表の注記

認定NPO法人セカンドハーベスト京都

2023年3月31日現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日策定、2017年12月12日最終改定 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1). 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却しています。
無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却しています。

(2). 施設の提供等の物的サービスを受入れた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスを受入れは、「施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」として注記しています。

(3). ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(4). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

【事業費の内訳】

事業費の区分、明細は別紙に添付します。

【施設の提供等の物的サービスの受入の内訳】

[税込] (単位:円)

内容	金額	算定方法
食品の提供	13,652,520	寄贈食品22,754.2kg×600円/1kgあたり
車両の提供	308,000	軽自動車レンタカーのマンスリー料金に12ヶ月を乗じた。
合計	13,960,520	

【活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳】

内容	金額	算定方法
ボランティア役務金額合計	555,632	延べ133名 稼働時間574時間 時間給968円で計算

【使途等が制約された寄付等の内訳】

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は7,266,175円ですが、そのうち520,000円は翌期以降に使用される財産です。したがって、使途が制約されていない正味財産は6,746,175円です。


[税込] (単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
ボランティア慰労費	520,000			520,000	公財)社会貢献支援財団 使用しなかった分の返済義務は無い。残高は翌期以降に使用予定。
フードバンク活動	2,106,385		2,106,385	0	一社)全国フードバンク推進協議会 使用しなかった分の返済義務は有り。
食のセーフティネット&フードパントリー	3,525,027		3,525,027	0	公財)福祉医療機構 使用しなかった分の返済義務は有り。
合計	6,151,412	0	5,631,412	520,000	

前事業年度の年間役員名簿

2022年12月1日から2023年3月31日まで

認定NPO法人セカンドハーベスト京都

役職名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事長	澤田 政明		2022年12月1日から 2023年3月31日まで	報酬無し
理事	松本 浩之		2022年12月1日から 2023年3月31日まで	報酬無し
理事	井本 博之		2022年12月1日から 2023年3月31日まで	報酬無し
理事	田中 容子		2022年12月1日から 2023年3月31日まで	報酬無し
理事	神崎 哲		2022年12月1日から 2023年3月31日まで	報酬無し
監事	秋岡 安		2022年12月1日から 2023年3月31日まで	報酬無し
監事	牧野 誠司		2023年1月29日から 2023年3月31日まで	報酬無し

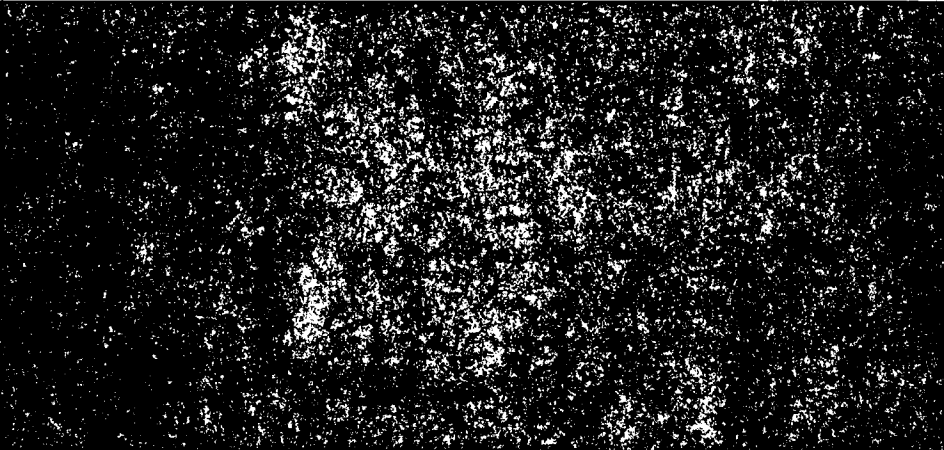
(備考)

- 「氏名」, 「住所又は居所」, 「就任期間」及び「報酬を受けた期間」は, 全ての役員について記載する。
- 「氏名」, 「住所又は居所」の欄には, 京都市特定非営利活動促進法施行条例第3条第2項に掲げる書面(住民票等)によって証された氏名, 住所又は居所を記載する。
- 「報酬を受けた期間」の欄には, 報酬を受けたことがある役員はその期間を, 報酬を受けなかった役員については「報酬無し」と, それぞれ記載する。

前事業年度の社員のうち10人以上の者の名簿

2023年3月31日現在

認定NPO法人セカンドハーベスト京都

氏名	住所又は居所
澤田 政明 松本 浩之 澤田 敏子 岩井 宏之 佐藤 龍子 前川 一朗 横井 英子 井本 博之 田中 容子 秋岡 安	 A large black rectangular redaction covers the entire '住所又は居所' column for all listed names. The area below the redaction is empty.

(備考)

- 1 前事業年度の末日現在における社員のうち10人以上の者の氏名及び住所又は居所を記載する。
- 2 10人以上であれば社員全員を記載する必要はない。